

炭鉱社会における親密圏の生活戦略

木村 至聖

(京都大学文学部 非常勤講師 / 京都大学大学院文学研究科グローバルCOE 研究員)

井上 博登

(早稲田大学大学院人間科学研究科 博士後期課程)

2010年12月



京都大学グローバル COE

「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」

Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科
Email: intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp URL: <http://www.gcoe-intimacy.jp/>

アブストラクト

本研究プロジェクトでは、戦後日本の工業化の流れのなかで形成された炭鉱社会において生活した人々の生活史を収集し、家族や地域コミュニティといった親密圏の視点からそれらを再考してきた。とりわけ、本研究では元炭鉱労働者（男性）だけでなく、その家族の女性や、炭鉱の周辺地域に住んでいた人々などへの聞き取りを重点的に行なうことによって、戦後日本の混乱や急激な工業化、そして労働争議や炭鉱事故、石炭政策の転換による閉山、それにともなう地域経済の崩壊といった出来事に、人々が親密圏の枠組みを巧みに変容させながら対処してきた様子を多面的に描き出すことを目指してきた。

本報告書では、これまでの研究成果を理論的に整理し、人々が脱工業化という産業構造の転換をどう生きてきたのか、家族・地域という親密圏単位での実践・戦略についての見取り図を描き出すことを目的としている。

2009年度次世代研究「炭鉱社会における親密圏の生活戦略」（研究代表：佐々木祐）による成果である。

【メンバー】（ ）内は2009年度プロジェクト時点

佐々木 祐（京都大学文学部 非常勤講師 / 京都大学大学院文学研究科グローバルCOE
研究員）

木村 至聖（日本学術振興会 特別研究員 / 京都大学文学部 非常勤講師）

井上 博登（早稲田大学大学院人間科学研究科 博士後期課程）

永 吉 守（福岡工業大学社会環境学部 非常勤講師 / NPO 法人大牟田・荒尾炭鉱のまち
ファンクラブ運営委員）

西牟田真希（関西学院大学大学院社会学研究科 博士後期課程）

中島 満大（京都大学大学院文学研究科 博士後期課程）